
私はできる女（お題小説文字数制限なしバージョン）

神村律子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私はできる女（お題小説文字数制限なしバージョン）

【Nコード】

N2553BA

【作者名】

神村律子

【あらすじ】

お題小説です。たまには真面目に書いてみます。

(前書き)

沢木先生のお題に基づくお話です。

「シャワーキャップ」をお借りしました。

私は大手商社のトップ営業。

「女だてらに」

とか、

「鼻につく」

とか言われながらも、居並ぶ男共を尻目に営業成績を伸ばし、何ヶ月も続けて表彰をされている。

それもこれも、大学時代から付き合っていた男と嫌な別れ方をしたから。

それ以来、私は仕事が恋人どころか、命よりも大事なくらいになつていった。

男なんて、みんな同じ。

誰も彼も、やりたいだけ。

冗談じゃない。女は男の欲望の捌け口じゃないんだ。

しかし、仕事一筋になつてからも、

「あいつ、女を捨てたみたいだよ」

と言われたくはなかったので、身嗜みには細心の注意を払った。

皺一つない黒のパンツスーツに、奇麗にアイロンがけされたシルバーホワイトのブラウス。

髪も短くはせず、肩までのセミロングを維持した。

化粧も手を抜いていない。

だから、後輩女子に「好きです」とか手紙をもらっただ。

もちろん、私にはそっちの気は一切ないけど。

ある日、課の企画会議に出席し、プレゼンを行った。

プロジェクターを駆使し、数十枚もの企画書を作り、気合を入れて臨んだ。

「では、続きまして」

企画書の原本のページを捲った時だった。

血の気が引いた。

何故かそこにゴムで丸められたシャワーキャップが挟まっている。

全く身に覚えがない。慌ててポケットに押し込んだ。

私はシャワーキャップなど使った事がないのだ。

しかし、その思いもよらないシャワーキャップの登場で、私はすっかり動揺してしまい、その後のやり取りは惨憺さんたんたるものになってしまった。

ふと出席者を見渡すと、私を見てニヤついている男が一人。

誰あるう、別れた男だった。

まさか？ 思わず睨み付けそうになるが、何も証拠はない。

何ふり構わず突っ走って来た私に対する嫌がらせだろうか？

いずれにせよ、何故笑っていたのかは確認してみよう。

そう思い、企画会議が終わると、昨日までは半径1メートル以内には近づかなかったそいつのそばに歩み寄った。

「どづいつつもり？」

単刀直入に尋ねた。するとそいつは何故か照れ臭そうに笑い、

「そのままだよ。他意はない」

と嘸ふんいた。私は思わずカツとなり、

「企画書にシャワーキャップを挟んでおいて、他意はないってどづいつ意味よー!？」

周囲に人がいるのも忘れて怒鳴ってしまった。

「シャワーキャップ？ 何の事だ？ 俺が挟んだのは、指輪だぞ」

そいつはまだ嘘を塗り重ねるつもりらしく、そう言っただけだ。

「これのどこが指輪なのよ！」

私はポケットから物証を取り出し、そいつに突きつけた。

すると、シャワーキャップの間からコロソと何かが床に転げ落ちた。

「え？」

よく見ると、それはシャワーキャップなどではなく、包み紙だった。

ゴムで縮んでいると思ったのは、リボンで結わえられていたからだった。

転げ落ちたものを見ると、確かにそいつの言う通りのものだ。

「やり直そう」

そいつは真剣な表情になって言う。

「うん」

涙が零れた。恥ずかしさのため、祝福の声と拍手の音が遠くに聞

こえた。

(後書き)

お読みいただき、ありがとうございます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2553ba/>

私はできる女（お題小説文字数制限なしバージョン）

2012年1月6日15時46分発行